

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

志木市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県志木市

3 地域再生計画の区域

埼玉県志木市の全域

4 地域再生計画の目標

志木市は、埼玉県南西部に位置し、面積 9.05 平方キロメートル、人口約 7.6 万人の水と緑、人と自然が調和した都市で、1970 年 10 月 26 日に市制を施行しました。

志木の中心を流れる新河岸川と柳瀬川、そして、東を流れる荒川と、3 本の川がシンボルともなっていますが、特に歴史的には、新河岸川の舟運で栄えた商業都市として発展しました。

1965 年頃から首都近郊 25 キロメートル圏内で、都心まで 20 分という好条件から、人口も急増し、住宅都市としても発展してきましたが、自然や田園風景も残されており、市の将来構想に定めている「よりそう想い 広がる絆 いいね！がいっぱい 志木のまち」の実現を目指し、市民一人ひとりが住み続けたいと思えるようなまちづくりを推進しています。

本市の人口は、2020 年の 75,346 人から 2025 年には 76,666 人まで増加し、今後もしばらく増加傾向を維持すると予想されていますが、2035 年をピークに減少に転じると推計されています。

自然増減について、2020 年に自然減（死亡数が出生数を上回る状況）に転じて以降自然減が続いており、2022 年には 254 人減と最も大きく減少しています。本市の人口を維持していくためには、より若い世代を確保していくことが求められることから、結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえることができる環境づくりをより一層推進していくことが重要です。

一方、社会増減について、1995年～1998年、2000年、2004年、2011年を除いて社会増（転入数が転出数を上回る状況）となっています。本市は20～30歳代の比較的若い世代の転入超過という特徴を有しているものの、転出数も多くなっています。志木市で住み続けてもらえる環境づくりを進めていくことで、生産年齢人口を確保していくことが重要です。

また、産業構造について、産業別の就業者割合は、第3次産業が最も多く、2005年以降は7割を超えています。第2次産業と第1次産業はともに減少傾向で、第2次産業は2020年には2割未満、第1次産業は1995年以降1%未満となっています。持続可能な都市として維持・成長していくためには、地域産業の振興による活力と賑わいのあるまちづくりが求められることから、今後も、市内での雇用の場の確保に取り組みながら、転出の抑制を図ることが重要です。

さらに、都心部への交通アクセスの利便性を活かし、ベッドタウンとして定住人口を確保してきた本市の特性を踏まえ、更なる情報発信などを展開しながら、引き続き、都心勤務者をはじめとした新たな転入者の獲得に取り組んでいくことが求められます。

これらの課題に対応するため、次の4つの基本目標を掲げ、施策・事業の展開を図るものとします。

- 基本目標① 地域産業の活性化、雇用の創出
- 基本目標② 若者・子育て世代を中心とした転入の促進
- 基本目標③ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる
- 基本目標④ 魅力的な地域づくり、人づくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	法人市民税均等割納税義務者数の増加(社)	2,228	2,300	基本目標①
イ	20～40歳代の転入超過数の増加(人)	145	370	基本目標②
ウ	年少人口の増加(人)	9,316	9,500	基本目標③
エ	定期外乗降客数の増加(人)	41,866	43,000	基本目標④

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2とおおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

志木市まち・ひと・しごと創生推進計画

- ア 地域産業の活性化、雇用の創出事業
- イ 若者・子育て世代を中心とした転入の促進事業
- ウ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる事業
- エ 魅力的な地域づくり、人づくり事業

② 事業の内容

ア 地域産業の活性化、雇用の創出事業

- ・ 商工会との連携を強化し、創意工夫を凝らした魅力ある地域活性化事業や地元商店会の育成を支援します。
- ・ 空き店舗の増加による商業機能の低下を防ぐため、支援制度を充実す

ることで、地域経済に元気と活気を創出します。

- ・ 中心市街地エリアでの創業支援、イベント開催や情報発信の強化を通じて地域経済の活性化を図ります。
- ・ 中心市街地において魅力的な個店の集積に向けた取組を実施するとともに、志木駅東口のペDESTリアンデッキの活用を推進する等、魅力的な空間づくりやイベントの実施により、さらなるにぎわいを創出します。

【具体的な事業】

- ・ 活気ある商工業の振興
 - ・ 中心市街地活性化
- 等

イ 若者・子育て世代を中心とした転入の促進事業

- ・ いろは親水公園においては、魅力の向上のため民間活力を活用した管理運営を展開します。さらに、いろは親水公園以外の公園においても魅力向上に資する管理運営に努めます。
- ・ 小中一貫教育の推進や教職員の資質・能力をより高める効果的な教職員研修等の実施により、児童生徒の義務教育9年間の学びをつなぎ、子どもたち一人ひとりを伸ばす教育を実現します。また、GIGAスクール構想に基づいた環境を整備します。
- ・ 知識や技能の習得だけでなく、学びに向かう姿勢を含めた「確かな学力」を育成するため、「主体的・対話的で深い学び」を通じた教育活動に取り組みます。

【具体的な事業】

- ・ 安全で快適な公園の整備
 - ・ 子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばす教育の推進
- 等

ウ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる事業

- ・ 妊娠期から高齢期まで途切れることなくライフステージに合わせた健康づくりと女性・子ども・高齢者に焦点を当てたライフコースアプローチを踏まえた健康づくりを包括的に推進します。また、人や地域とのつながりを深め、生涯現役で地域の健康づくりを支える人財の育成を進めます。
- ・ 行政、市民団体、事業所等が連携し、自然に健康づくりにつながる行

動をとることができる環境を整えるとともに、職域における健康づくりを推進します。

- ・ 出産や育児に伴う経済的・精神的な不安を軽減し、すべての子育て家庭が、安全・安心で楽しく子育てができるよう、支援を行うとともに、児童虐待防止に向けて連携体制の強化に努めます。
- ・ 母子保健と児童福祉の機能を併せ持つこども家庭センターにおいて、妊産婦と子ども・子育て世帯への一体的な相談支援を行います。

【具体的な事業】

- ・ 途切れることのない健康づくりの推進と環境づくり
- ・ 妊産婦と子ども・子育て世帯への支援 等

エ 魅力的な地域づくり、人づくり事業

- ・ 観光協会・志木市商工会をはじめとする関係団体と連携し、市民力を通じて観光資源の発掘や魅力的な事業展開を図ります。
- ・ メディアの特性や情報のターゲットを意識した積極的なプロモーション活動を推進し、住みたい・住み続けたいと思える志木市の魅力を発信します。

【具体的な事業】

- ・ 地域の観光資源の発掘と魅力的な事業の展開
- ・ シティプロモーションの推進 等

※なお、詳細は第三期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに志木市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで